

団体名 渡嘉敷村立渡嘉敷幼稚園	連絡先 TEL : 098-987-2538 Eメール : tokayou@oki-tokashiki.jp
---------------------------	-----------------------------------------------------------

1 実践事項 (①)「幼・こ・小・中・高・地域・関係機関との連携 (幼小・小中・中高・地域)」

タイトル : 「僻地校における、地域・関係機関との連携した取り組み」

2 実践内容

- (1) さまざまな行事を通して、地域の方と関り親しみを持つ
 - ① 戸外活動等を通して、地域の方に親しみを持てるようにしている。
 - ② 公共の場などを利用して、社会とのつながりに気づけるような保育実践を行っている。
 - ③ クリスマスやひな祭りなどの行事の際、郵便局を訪問し職員の方の仕事の様子を見学している。
- (2) 人の役に立つ喜びを感じる
 - ① 地域の高齢者福祉センターや保育所へ訪問し、ダンスを披露したり、プレゼントや年賀状を出したりして、お年寄りや年下の子に優しくすることで、人の役に立つ喜びを感じられる活動を取り入れている。
 - ② 当番の仕事
 - ・給食は毎週火曜日のみだが、その他の曜日は、調理場に行き牛乳を取りに行っている。当番活動を通して、当番の仕事を楽しみ、継続して行くことで責任感が育ち、また、栄養教諭と給食の話をするをことで、食育の一環を図っている。

3 説明資料



〈郵便局職員方との触れ合い〉



〈高齢者福祉センターへの訪問〉



〈地域の方とのあいさつや会話〉

4 成果

- ・新型コロナウイルス感染を避け、子供達の安全を守るという観点から、行事等が中止や延期となる事が多かったが、僻地だから行える連携や関りを持つことができ、地域の良さを改めて感じた。また、これらの取り組みを通して、子供達が、地域の方にあいさつをしたり、会話を楽しむ姿が見られた。

5 反省

- ・コロナ禍でも、地域との交流が持てた一方で、計画していた、中学生の職場体験や、小学生による絵本の読み聞かせなどは、3密を避けるため、中止にすることが多かった。併設校である、幼小中の連携を踏まえ、園児、児童生徒が触れ合える行事の工夫と、学校職員、幼稚園職員との意見交換の機会を設けていくことの大切さを改めて感じている。